

要注外来生物リスト 昆虫類等陸生節足動物(案)

被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

和名	学名	*	文献等で指摘されている 影響の内容	摘要
チャイロネットイヌバチ	<i>Delta pyriforme</i>		生態系(競合・駆逐・捕食)	大型の捕食者で小笠原で普通種となっており、在来の昆虫(特にチョウ目)への影響が懸念されるが、実態は不明。
ナヨクバシアシナガバチ	<i>Ropalinda marginata</i>		生態系(競合・駆逐・捕食)	硫黄島では普通種で、捕食による在来昆虫への影響が懸念されるが、実態は不明。小笠原への侵入が懸念される。
アフリカミツバチ	<i>Apis mellifera scutellata</i>		生態系(競合・駆逐)、人の生命・身体 に係る被害	海外において、本亜種とヨーロッパ系ミツバチとの交雑個体が高い攻撃性を持つことが知られているが、日本における被害のおそれは不明。
クワガタムシ科	Lucanidae	要	生態系(競合・駆逐、遺伝的攪乱)	大量の個体が愛玩用に輸入・販売され、一般家庭にも浸透しており、低年齢層の飼育者も多い。野外での逸出個体の発見があり、遺伝的攪乱も懸念されるが、実証的データは不足している。

選定の対象とならないが、注意喚起が必要な外来生物(放蝶行為の対象)

和名	学名	*	文献等で指摘されている 影響の内容	摘要
ホリオチョウ	<i>Sericinus montela</i>	要	生態系(競合)	ジャコウアゲルとの競合が懸念されている。放蝶に由来すると考えられる分布拡大が見られるため、これらの行為を防ぐ普及啓発が必要。
アカホシゴマダラ	<i>Hestina assimilis</i> (在来 <i>H. a. shirakii</i> を除く)	要	生態系(競合)	ゴマダラチョウとの競合が懸念されている。 <i>Hestina assimilis shirakii</i> が奄美大島に在来で分布するが、神奈川県などで分布を拡大中の種は国外産の亜種である。放蝶行為を防ぐための普及啓発が重要。

*要:要注意リスト掲載種、日本生態学会リスト100 IUCNワ-スト100